

平成 30 年第 5 回高森町議会定例会あいさつ

本日ここに、平成 30 年第 5 回高森町議会定例会を開催いたしましたところ、議員各位におかれましては、何かとお忙しいところご出席いただき、諸案件に対しご審議いただきますことに対し、厚く御礼申し上げます。

特産の市田柿は、例年より数日早く 11 月下旬から出荷が始まりました。今年は比較的大粒で出来が良いと聞いています。これから最盛期を迎える中で、先日 12 月 1 日「市田柿の日」には、市田柿発祥の里高森町を PR するため、東京都武蔵野市吉祥寺で人気の商業エリアに初めて進出し、出展と物販を行いました。高森町をほとんどご存じない都会の皆さんではありましたが、生産者や関係の皆さまと協力し、しっかり PR 活動ができたと思います。今も昼夜を問わず作業に追われている市田柿の生産者の皆さまには、ぜひ体調管理に気を付けていただきたいと思います。

一方で、8 月下旬より問題となっている「かぶちゃんファーム」等の管理農地は、市田柿の成木園で実った生柿の収穫を概ね行うことができました。また、権利関係が不明確であった柿の木について、破産管財人より権利放棄の連絡があり、荒廃地が懸念されていた畑を、新たな担い手に引き継ぐことが可能となりました。今後、県、JA など各種関係機関と連携し、農業委員会や営農支援センターを中心に、次の担い手確保と維持管理継続に努めてまいります。

本年度のまちづくり懇談会は、9 月 20 日から 10 月 19 日にかけて、町内 21 地区で開催しました。全町で述べ 464 人の皆さまにご出席いただき、まちづくりに対し活発な意見交換を行いました。

本年度は、今までのような全地区画一的な内容でなく、町からは地域公共交通関係にテーマを絞り、21 地区からはそれぞれ事前に地域課題のテーマをお伺いし、お話をさせていただきました。公共交通については、出席者の皆さんの多くは、実際に困り感を感じていない中ではありましたが、高齢者や学生、リニア開通後の来訪者の交通手段など、将来の姿を検討する上で貴重なご意見をいただくことができました。また、地域のテーマに関する意見交換では、地域毎の身近な話題を取り上げたことで、参加者の多くからたくさんのご意見をいただくことができ、内容の濃い充実した懇談会となりました。

それぞれの地区のご意見と、それに対する町の考え方や対応、取組みは 12 月に地域の皆さまに回覧しますので、ご覧いただきたいと思います。

懇談会は、町民の皆さまからのご意見をいただく貴重な機会ではありますが、あくまでの手段の一つです。皆さまの声をよりスピーディーにまちづくりに反映させるため、懇談会によらず普段から気軽にご意見をお寄せいただきたいと思います。

11 月 17 日、18 日の 2 日間、高森まるごと収穫祭を、例年通り役場駐車場において開催しました。珍しく 2 日間とも好天に恵まれ、友好都市静岡県御前崎市、災害応援協定を締結している和歌山県高野町、徳島県美馬市からも出店いただき、盛大に開催することができました。ご協力いただきました、地域の皆さま、JA、商工会、公民館など関係の皆さまに感謝申し上げますとともに、持続可能な町のイベントとしてご意見を伺いながら、来年度以降の取組みの参考とさせていただきたいと思います。

南信州広域連合で進めている、旧工業高校跡地を利用した「産業振興と人材育成の拠点」整備事業は、昨年 9 月から第 3 期改修事業として、公益財団法人南信州飯田産業センターの機能を強化し移転拡充するための施設として、メインエントランスや売店、食堂、体験展示コーナーなど来場者を受入れる機能も含め整備を行ってきました。また、今年の春、県から取得した特別教室棟は、食品系研究棟として改修を行い、いずれも年内の完成を見込んでおり、これにより当初予定した施設改修は全て完成します。

年明けの 1 月 4 日には、当該施設で公益財団法人南信州飯田産業センター業務を開始しますが、産業振興拠点としての効果が十分発揮されることを期待するとともに、今後実施される駐車場や進入路などの外構工事については、南大島川からの進入路及び通過交通について、町の要望を広域連合及び敷地所有者である長野県に伝えてまいります。

同様に、南信州広域連合で検討を進めている、コンベンション施設及び屋内体育施設については、今年 3 月に候補地の募集を締切り、当町においても下市田河原に誘致を行いました。しかし、そもそもの施設に対する姿勢や考え方、建設事業費の負担、運営形態など、圏域内でも方向性が統一できていなかったため、施設に対する「基本的な考え方（素案）」をまとめ、有識者、関係団体、若者組織などに対し説明し、意見を求めています。こうした皆さんの意見を参考に、広域連合において年度内には整備する施設の

概要や建設スケジュールなどをまとめ、町民の皆さまにもお示しできるよう検討を進めています。

平成 30 年度も残すところわずかとなり、町では平成 31 年度事業執行及び予算編成に向けて動きだしています。昨日 12 月 3 日に、予算編成方針会議を全職員対象に実施し、町民の皆さまに対し、透明で分かりやすく実施事業を評価し、併せて過去の事業に縛られることなく、自分たちの「気づき」を必要に応じ新たな事業展開に結びつけることができるよう、前向きな予算編成を指示しました。

そもそも、町では、まちづくりプランに基づいた施策の取組み状況を分かりやすく説明できるようにするため、行政評価を実施していますが、これまでは評価が予算へ反映してく仕組みが、前年度の評価結果を翌年度の予算へ反映する方式としていたため、1 年以上の期間が空いてしまうことが課題となっていました。そこで、本年度からは評価を当年度の事業年度中に実施し、結果を翌年度予算へ反映する仕組みに変更し、目の前の行政課題や改善案を速やかに予算へ反映することができるようになりました。既に、本年度の施策評価会議は 11 月 26 日 27 日に全 22 施策を対象に開催され、この会議に、初めて、町民の代表者でもある議員の皆さまにご出席いただき、貴重なご意見、提言をいただくことができました。大変ありがとうございました。

行政評価は、決まったやり方があるわけではありませんが、より町民の皆さんに分かりやすく、また、今後は直接施策に関係されている町民の皆さまからご意見をいただける場を設けるなど、より有効な仕組みとなるよう改善を重ねてまいります。

また、本年度も議会より次年度予算編成に向けて、「自然災害に対する安全確保」、「町政に女性が参画する機会づくり」、「地元出身者の地元就職の促進」、「角田原地域における農業振興及び 6 次産業化の推進」の 4 項目の提言をいただきました。提言いただいた事項についてはいずれも重要な案件であり、次年度以降の予算編成において事業の実施方法などをお示ししたいと思います。

地方創生が言われる中、私は、これからの行政職員は刻々と変わる世の中の状況変化や国県の動向を知りながら、民間事業者の見識などを備えなければ、行政職としての対応が困難と考えています。そこで、平成 31 年度より、2 民間事業者、国際関係機関、国、県機関との人事交流を行うよう進めています。町より 5 名の若手職員を出向、関係事業

者からも町へ出向していただきます。お互いがそれぞれの職に対する理解を深め、地方創生を牽引できる人材育成に努めたいと思います。

同様に、私自身も職員以上に、国県、世間の動向に注視しなければなりません。就任から1年が経過しますので、選挙時に町民の皆さまとお約束させていただいた公約の進捗状況など自己評価を実施し、町民の皆さまに公開し、ご意見を伺いながら、必要に応じ、公約の改善を実施したいと思います。

それではここで、9月定例会以降の各課の取り組み状況についてご報告します。

はじめに、総務課関係です。

4月にアグリ交流センターで開校した「信州たかもり熱中小学校」は、9月に第1期講座を修了し、10月13日からは、新たに85名の生徒を迎え、第2期の講座が始まりました。取り組みも充実してきており、生徒同士の交流として、女性サークルや薬草サークルなどの部活動が作られ積極的に活動が展開されています。また、アグリ交流センター周辺、千早原の整備として、畑を借りてそばづくりを行い、生徒自身でそば打ち体験をしながら、活動場所や地域を活かす取り組みの検討も始まっています。こうした熱中小学校の関わりにより、目的としている人づくりやネットワークは少しずつですが、確実に進みつつあります。

熱中小学校は高森町における地方創生の大きな柱の一つです。人口減少少子高齢化が進む中であっても、人づくりを目的に、起業人の育成と社会人の学びの場としてこれからも推進してまいります。

また、12月8日には阿部守一長野県知事を講師としてお招きし、県の振興総合計画の柱でもある「学びと自治」について、特別授業を開催します。定員には限りがありますが、一般の方の聴講も可能ですので、是非お越しいただき、熱中小学校を体感いただきたいと思います。

次に、産業課関係です。

滞在型農業パークのデザインを描くパノラマ農園プロジェクトが進んでいます。これまで検討してきた、滞在の際の体験プログラムや修景デザインの一部を、現地で実験するため、11月24日にトライアルツアーを開催しました。町内外より25名が参加し、り

んご狩り、ヤギとのふれあい、眺望、カフェでの食事など、歩いて巡る6つのおもてなしコンテンツを提供し、参加者から体験後のアンケートを得ました。今後は、これら全てをまとめ、12月下旬にこれまで検討を重ねてこられた皆さんや、地域、地権者などの関係各位に対してプレゼンテーションを行い、最終的な町の方向性をお示ししたいと考えています。

下市田河原農免農道西、産業集積地は、現在3社の皆さんと協議を進めています。南側から順次企業誘致を進めてまいりますが、県の指導等により、立地企業が決まる都度ではなく、あらかじめ全体の開発行為許可申請が必要との見解が示されました。そこで、10月末には地権者説明会を開催し、事業の進め方や方向性などについて説明し、概ねすべての地権者からご理解をいただくことができましたので、開発行為許可申請に要する委託料を追加し、年度内において造成工事などに着手できないため、工事費減額などを、補正予算において措置しています。

信州たかもり温泉、湯が洞、御大の館は、指定管理の期限を来年3月に迎えます。これに伴い、指定管理者の公募を11月21日期限で実施しました。その結果、2社からの応募がありました。このうち1社は現在の指定管理者である高森町まちづくり振興公社で、他の1社は静岡、山梨、長野の3県で計12の同種施設の指定管理を受託している民間事業者です。11月26日に7名からなる選定委員会を開催した後、現在、委員や産業課職員により民間事業者が受託している他施設の現状を調査しています。

今後、これらの情報収集後に、候補者を慎重かつ公正に決定し、本定例会の会期中に指定管理者の指定に係る議案を追加議案として上程させていただく予定です。

次に、建設課関係です。

11月5日から平成31年度地区計画のヒアリングを、町内7区を対象に実施しました。それぞれの立場で、地域において真剣な議論を重ねられた結果と受け止め、今後、現地を確認のうえ、工法や積算を行い、新年度予算に可能な限り反映します。

また、ヒアリングに先立ち区長会との懇談を実施し、事業の区分や補助率の考え方などについてご意見をいただきました。次年度に向け、現在にあった方式などの検討を行い、年明けには方向性をお示ししたいと思います。

当町も参画している新万年橋（仮称）建設期成同盟会では、新しい橋の名称案を募集しています。竜西と竜東を結ぶ橋としてふさわしく、永く地域に愛される橋となることを願い、地域の皆さんに名称のご提案をいただくというものです。当町窓口だけでも既に 20 件ほどの応募をいただいています。今月 14 日まで募集しておりますので、ぜひ、渾身の一作をご応募いただければと思います。

応募の締め切り後は、応募案から期成同盟会内の選考委員会で 3 案程度に絞り込み、年明け後改めて住民の皆さまの投票方式により名称案を決定する予定です。

工事関係では、道路維持工事は 75%を完了し、河川維持、町道安全対策等工事及び土地改良（補助金）関係工事につきましても、順次完了し精算を進めています。

町道Ⅰ-6 号線八日市場線改良工事につきましては、旧跨線橋の撤去工事を行っており、年内に旧橋の撤去が完了する予定です。引き続き仮設ヤードの復旧、関連土留工事を進め、来年 5 月末までには全ての工事を完了する予定です。

町道 7290 号線農免先線につきましては、物件調査、用地測量を行っており、関係する地権者の皆様へ現在の計画による影響幅などの説明を行っています。

次に、環境水道課関係です。

昨年の 8 月から稲葉クリーンセンターの稼働が始まり、廃プラスチックを燃やすごみとして処理するようになり約 1 年が経過しました。平成 30 年 4 月から 9 月の上半期、町の燃やすごみの搬入量は 779 トンで、前年同期に比べ 123 トン増加し、容器包装プラスチック、廃プラスチックの処分量は 76 トンで前年同期に比べ 50 トン減少しました。このことから、処理方法の変更により、燃やすごみとプラスチックごみの総量では 73 トン増加しています。

当町の平成 28 年度におけるごみの総排出量は、一人一日当たり 427g で全国平均の 925g の半分以下で、全国の市町村の中でも 15 番目に少ない順位となっています。燃やすごみの増加要因を分析し、町民の皆さまへの周知と協働により、ごみの減量化、再資源化に積極的に取り組みます。

農業集落排水上市田地区を公共下水道へ統合するため、県道上市田線で行ってきまし

た下水道管接続工事が11月末に完了し、公共下水道への統合が実現しました。

旧上市田浄化センターにつきましては、清掃、機器撤去を行い、来年度からは教委委員会で文化財や図書館の倉庫として有効活用していく予定です。

次に、教育委員会関係です。

平成30年度第1回子ども子育て会議を9月28日に、第2回を11月29日に開催しました。子ども子育て会議では、平成28年度から保育園園舎の老朽化、未満児数の増加などについて検討を行い、これまで、吉田保育園、みつば保育園の建替えが必要であるという方向性が示されています。今年度からは、人口減少などに対応する保育園の適正な施設数や場所、民営化も含めた施設の運営形態などについても検討を進め、今年度中に一定の方向性をお示しします。

旧給食センターの施設を活用し、南小学校の学童クラブとして利用するための改築工事においては、外壁のアスベスト対応、1階倉庫解体費等に係る経費が増工となり、9月議会で補正予算を計上させていただきました。11月15日に仮変更請負契約を締結しましたので、本議会に変更請負契約締結のための議案を提出しています。

なお、工事は順調に進んでおり、12月中に竣工、1月に新施設での運営準備を行い、2月より新しい施設での利用を予定しています。

10月21日に松岡城秋の陣を開催しました。これまでは7年間ほど音楽イベントを中心に行ってきましたが、今回から子ども向けの取組みに変更しました。松岡城址愛護会では子どもたちの参加を心待ちにし、会場準備や弓矢を手作りしてきました。参加した子ども達は、城跡に落ちている枯れ枝を拾い、弓矢の体験をし、城を攻める側と守る側に分かれて合戦を行い、松岡城の守りの強さを知る機会となりました。

また、子どもたちが文化財に親しみ関心を持つことで、地域を好きになってほしいという思いから、文化財保護係の職員が5つのキャラクターを作成しました。キャラクターには、犬や猫など子どもたちが好きな動物を使い、見た目や設定には各地域にある文化財を盛り込んでいます。南北小学生へのキャラクター紹介、また今後の文化財関連のイベントチラシやホームページなどで活用しています。

町ではこれからも、子どもたちが町の歴史や文化財に親しむことで地域に関心を持つ

こと、また地域で活動する団体が元気になるための取り組みを進めます。

次に、税務会計課関係です。

平成30年度10月末現在の町税現年度分に係る調定額は、個人住民税553,710千円で、前年同月に対し8,440千円の増、法人町民税は、51,980千円で、前年同月に対し850千円の減、固定資産税は、632,690千円で、前年同月に対し29,310千円の減、軽自動車税は、49,170千円で、前年同月に対し1,180千円の増、諸税を合わせた町税全体としては、1,339,290千円、前年同月に対し、19,760千円、1.5%の減です。

また、10月末現在の現年度分の収納状況は、調定額1,339,290千円に対し収入額807,240千円で、徴収率60.3%、前年同月に対し、徴収率は0.5%増です。

さて、本定例会には、報告案件1件、条例案件1件、契約案件1件、指定管理の指定案件3件、補正予算案件7件を提出しました。

議案第64号高森町役場支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例は、下市田地域交流センターにおいて設置していたあさぎりの郷出張所が、社会福祉協議会がやすらぎ荘に移転された際に廃止されていたことから、条例を改正するものです。

議案第66号特別養護老人ホームあさぎりの郷の指定管理者の指定について、議案第67号あさぎりの郷短期入所施設の指定管理者の指定について、議案第68号あさぎりの郷デイサービスセンターの指定管理者の指定については、いずれも高森町公の施設における指定管理者の指定の手続き等に関する条例第4条の規定により、現在指定管理をお願いしている、社会福祉法人ジェイエー長野会を指定管理者に指定するため、議会の議決をお願いするものです。

議案第69号平成30年度一般会計補正予算（第4号）は、歳入歳出にそれぞれ318,350千円を追加し、総額を7,791,098千円とします。

町税につきましては、徴収実績などから、個人町民税で10,000千円、軽自動車税で1,500千円を増額補正します。

ふるさと元気づくり寄付金は本年度も全国の多くの皆さんからご支援をいただき、昨年度決算額を 40,000 千円ほど上回る、578,000 千円となる見込みです。歳入で 98,500 千円を、返礼品や事務経費など関係する歳出で 69,700 千円を増額計上します。

なお、返礼率や地元産の返礼品について、総務省からご意見をいただいておりますが、今後は制度による適切な運用に努めてまいります。

統一地方選挙の投開票が平成 31 年 4 月 7 日に行われる見込みとなり、長野県では県議会議員一般選挙が施行されます。告示が本年度内となることから選挙に係る経費 4,535 千円と財源として 1,800 千円の県支出金を増額計上します。

段丘林整備のプロジェクトでは、本年度モデル事業として山吹、城坂東斜面の伐採を進め、景観も大きく変わりつつありますが、一方で長年の竹の繁茂により処分費等や作業道など、計画数量を大きく上回ってしまいました。所期の目的を達成するため関係費用 10,628 千円を増額計上し、財源として同額をふるさと元気づくり基金から繰入れます。事前に踏査さえ困難な山林の状況でしたので、受託している森林組合等もかなり苦労しています。ご理解の程お願い申し上げます。

下市田河原の産業用地のうち、先にご説明しました農免農道西側に関する開発行為申請のための経費 30,899 千円を増額し、用地造成費 60,875 千円を減額計上します。なお、用地については予定通り買収し、財源として同額を財政調整基金より繰入れます。

本年度実施しております、信州たかもり温泉バイオマスボイラー導入事業では、ボイラー導入と合わせ、加水用の自然水源の確保を進めています。しかし、井戸掘削の結果当初計画した水量を確保することができなかったため、関係者にご理解を求め、表流水により水源を確保することとし、当該工事及び水処理施設などの増工に伴う事業費 6,996 千円を増額計上します。

夏場の酷暑対策を行い、児童が快適に学習できる環境をつくるため、南北小学校へのエアコン設置工事を国の補正予算を活用し実施します。工事請負費及び監理費 239,058

千円と、財源として 40,960 千円の国交付金及び 209,800 千円の学校施設等整備事業債を増額計上します。

工事は年度末より実施し、未完了分を次年度へ繰越しますが、早期に工事が完了するよう努めます。

その他は、当初予算編成時の計上不足のほか、不測の事務事業、諸条件の変更などに伴い、現時点で必要不可欠な補正予算を措置するもの、また、既に完了した事務事業について不要額を減額補正するものです。

国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険、農業集落排水事業、公共下水道事業の5つの特別会計と、水道事業会計において、歳入財源と歳出経費の過不足調整、人事異動による人件費の調整などを計上し、水道事業会計を除く5つの特別会計では12,620千円増額し3,797,240千円とします。

詳細については、提案時に担当課長よりご説明します。

以上申上げ、議会定例会開会にあたり、あいさつとさせていただきます。議員各位並びに町民の皆さまには、今後ともご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、提出いたしました議案について、よろしくご審議の上、適切な決定を賜りますようお願い申し上げます。